

授業科目 福祉用具学 II(コミュニケーション機器)

【担当教員名】 須田 裕紀、前田 雄		対象学年	2	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	○			
【概要・一般目標：GIO】 言語機能障害、聴覚障害、視覚障害といった他者とのコミュニケーションに必要な機能の障害に起因する能力障害であるコミュニケーション障害とコミュニケーション機器について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 本科目の概要及び成績に関する評価方法を理解している。 2. リハビリテーションにおけるコミュニケーション障害について説明できる。 3. リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念について説明できる。 4. リハビリテーション工学におけるコミュニケーション機器と環境制御装置について説明できる。 5. コミュニケーション機器と装具の関わりについて説明できる。 6. コミュニケーション障害別にみたコミュニケーション機器の選択方法について説明できる。 7. コミュニケーション機器と自助具の関連性について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス、福祉用具学 II の概要			1	
2	コミュニケーション障害			2	
3	リハビリテーション工学におけるコミュニケーションの概念			3	
4	コミュニケーション能力開発			2. 3. 4	
5	コミュニケーション機器における電子回路の基礎			4	
6	関連装具学			5	
7	コミュニケーション機器の選択			6	
8	自助具			7	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		講義内容に応じて、適宜プリントを配布			
【評価方法】 最終試験 100%		【履修上の留意点】 本科目と併行して実施される福祉用具演習 II は非常勤講師による講義となるため、開講日に注意すること。			